



こんにちは  
**東郷まさあき**です

**日本共産党**

ご意見・ご要望をお寄せください  
野洲市比江864 (☎589-4158)  
2016年12月18日 No.29

# 総務委員会 新病院議案を否決

## 共産党市議団が市予算要望書を提出



共産党市議団は去る8日、山仲市長に対して「2017年度野洲市予算に対する要望書」を提出しその実現を求めました。

要望書では 福井県の原発群の再稼働反対を国に申し入れることや市防災計画の見直し。暮らしと福祉・医療では、新病院の早期建設、学童保育所の土曜日・日曜日保育実施、中学校卒業までの通院医療費無償化、県下で3番目に高い国保税の引き下げなどを求めました。

循環バスの充実、県道守山中主線の川田橋交差点の安全対策など、市民のみなさんから寄せられた66項目の切実な願いの実現を要求しました。

**地域医療を担う市民病院建設  
市議会は市民の願いに応えるべき**

定例市議会に提案されている「市立病院設置条例案」が8日、総務常任委員会でも反対多数で否決されました。

反対議員は、「説明が不十分。駅前には巨大プロジェクトを」。しかし、新病院は5年間をかけて市議会・市民・行政で繰り返し議論し、野洲駅前での建設を決めてきたのです。また、野洲市の地域医療を担う新病院建設を願う、多くの市民の運動が起り、これが建設を進める機運となりました。

総務常任委員会では「反対のための反対」の主張で、市民に寄り添った議論がされていません。野洲駅前は今までから利権や利害に絡む噂も度々。もうこのようなことを繰り返してはなりません。まさに市民と市議会の意思が「ズれている」と言わなければなりません。

総務常任委員会の否決が本決まりではありません。設置条例案は最終本会議（22日）に採決されます。市議会の良識を発揮してほしいものです

### ◆総務常任委員会での新病院設置議案の態度

賛成＝太田健一、矢野隆行

反対＝中塚尚憲、荒川泰宏、上杉種雄、坂口哲哉

### ◆22日の最終本会議で条例案は採決されます

**朗報**

## 来年度から75歳以上の健康診査通知へ



一般質問では健康診査と小中学校の洋式トイレ設置を質問しました。引き続き、次号でご報告します

広域連合では「一年間に生活習慣病での受診が3回以上あり、かつ血液検査を受けた方のみを除外対象とし、それ以外の方には受診券を発行する」とのことです。これが実現すると対象者への周知及び申請手続きが解消されます。大きな改善となります。

去る6日の一般質問でも改善を求めました。市の答弁では「平成29年度より見直しを方向で広域連合が検討している」とのこと。改善方向が出されました。

75歳以上の後期高齢者を対象にした「健康診査」は、平成27年度から対象者が大幅に制限されました。このため、「なぜ健康診査が届かないか」などの声が多く寄せられていました。

高齢者に取って健康診査は重要です。共産党地方議員団は10月19日、滋賀県後期高齢者広域連合に改善を求める交渉をしてきました。